

広げようスポーツの輪・人の輪・GGコミュニケーション

EGGAだより

第24号

愛媛県グラウンド・ゴルフ協会

新年のごあいさつ

愛媛県グラウンド・ゴルフ協会

会長 松下 行吉



あけましておめでとうございます。会員の皆様には穏やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。また、日頃から県協会の運営や大会参加にご協力いただき、ありがとうございます。

国内でコロナウイルス感染者が確認されてまる2年になろうとしていますが、終息の見通しがたちません。昨年一昨年に続いて評議委員会(総会)を书面開催としました。また、県協会主催の大会も感染状況を見極めるためぎりぎりまで開催の判断を延ばした場合もあり、会員の皆様にはご迷惑をお掛けしましたが、これも感染防止のためとご海容ください。

さて、愛媛県で開催される「ねんりんピック愛媛(えがお)のえひめ2023」まであと一年半程になりました。この大会には愛媛県も、大会準備室を設けて準備に余念がありません。グラウンド・ゴルフは、ふれあいスポーツ交流種目として大会の柱の一つとなっています。私たちも会員を増やして、大勢で全国のグラウンド・ゴルフ仲間を迎えたいと思っています。

今年の干支は、「壬(みずのえ)寅(とら)」。壬寅は、「新しく立ち上がる」と「生まれたものが成長する」といったことを意味する縁起の良い干支だそうです。明けない夜がないようにコロナ禍にも必ず終わりがあります。今年はその「終息」を見つけ出す一年であってほしいと願わずにはおれません。

皆様のますますのご多幸をご祈念申し上げます、年頭のごあいさつといたします。

グラウンド・ゴルフの魅力

居相GG愛好会 合田 弘

10年前に町内会の方から声を掛けられグラウンド・ゴルフを始め、その3か月後には県GG中予大会でびっくりのダイヤモンドを達成し、以後グラウンド・ゴルフにはまってしまい、友達と始めた絵画は休止状態になっています。そのころに描いた「南楽園」の風景です。

グラウンド・ゴルフには、人々を笑顔にし、健康にし、結びつける魅力があります。愛媛県の会員数が減少傾向にあります。定年延長やコロナの影響も考えられますが、減少に歯止めを掛けるためには、大会を魅力あるものにし、誰でも気軽に楽しめるスポーツであることを大勢の皆さんに伝えられるように、今まで以上に普及活動に努めて行かなければいけないと思っています。



南楽園 (ハナショウブ) ホームページに掲載

県内・東から西へ アイラブ グラウンド・ゴルフ

創立30周年を迎えて

松前G Gひまわりクラブ
清水 勝義



松前G Gひまわりクラブ創立30周年記念

平成3年に当クラブの前身である新立グラウンド・ゴルフクラブとして創立から今日まで幾多の困難を乗り越え、「会員相互の親睦と技能向上をはかり健康の増進に努める」をスローガンのに活発な活動を続けながら、クラブの発展のために永く御尽力頂いた歴代会長始め先輩諸氏の皆様に心から敬意

と厚い感謝を申し上げたいと思います。

松前グラウンド・ゴルフひまわりクラブ創立30周年にあたり、過去の記録や記憶を整理し、「30年間の歩み」として、今後に伝えるべく記録として記念誌編集委員会を発足し、以後委員各位には多大なご苦勞を頂き記念誌発刊のはこびとなりました。

創立当初は戦後の引揚げ者住宅の跡地を借用して、雑草や石ころを取り除き整地を行い、ベンチやトイレ等を手造りで設置し、グラウンド・ゴルフの特長である場所によって距離やホールポストの教を自由に設定できるとあり、狭小地でも和気あいあいとプレーを楽しんだと聞いています。これが当クラブの歴史の始まりです。過去の記録を見ると、県大会での入賞者を多数輩出し全国大会への出場者も毎年のように出ています。手軽に誰でも楽しむことができるグラウンド・ゴルフ、しかし、やってみると実に奥の深いスポーツです。

また当クラブにおいては地域貢献活動にも積極的に参画し、小学生とのG G交流、高齢者教室でのG G指導、切手やP キヤップの収集など、最近では新型コロナウイルスの感染防止に役立ててもらおうと、マスク等の寄付を募り集めたマスクを松前町社会福祉協議会に寄贈しました。

現在は主練習場を松前公園多目的広場の広いグラウンドで、大型遊具の子供広場、体育館、全天候型のテニスコート、600mの遊歩道ほか総合運動公園の中にあり、エミフル松前も隣接していて、ひまわりバスも利用できる便利な場所にあります。

ここで、週3回の練習、月例大会および四季大会を実施、松前町グラウンド・ゴルフ協会の町長杯等年6回の大会、また、伊予市と松前町のグラウンド・ゴルフ愛好者有志の集まり「すみれ会」で年5回の大会も、このグラウンドで行い、仲間との交流を通じて健康の増進・保持とこころ豊かな人づくりに寄与しています。

30年間で育まれた伝統を引き継ぎ、今後の時代の流れに適切に対応して、ますます発展するよう努力していく所存です。

創立20周年記念大会

ハッピーG Gクラブ 小林 幸助



ハッピークラブ 20周年記念大会

令和3年1月17日、熱気あふるる参加者のほほに冷気が心地よく、ハッピーG Gクラブ・ゴルフの20周年記念大会が盛大に開催された。賞品は豪華賞品が全員に当たる前代見聞の豪華さである。

現在の会員28名、平均年齢78・4歳、南に別子銅山ゆかりの煙突山、西に国領川を見ながらのホームグラウンドで週5日の練習を続けている。

我がグラウンド・ゴルフは国体出場者や、全国大会の参加など確かな腕前の先達者も多くいるが、会員全員がすばらしい集団でもある。

パソコンの達者な人は毎日の成績、月一度の月例会の記録をすべてデータ化し、日々成績を目視できると共に、年間表彰もしている。又、誰に要請された訳でもないのに花の苗や球根を持ち寄り、グラウンドの隅は四季折々の花が絶えない。

全員が練習前の数分間、グラウンドの整備等をしているが、誰もがグラウンド・ゴルフの楽しさに感謝している証しである。

次回の30周年記念大会の開催に向け全員が元気で参加できる事を誓って大会の幕を閉じた。

コロナの影響で、原稿の記載が約一年遅れたが、今も、全員のグラウンド・ゴルフへの情熱は変わらない。

グラウンド・ゴルフを 徹底的に楽しむ！

古川GG愛好会 向井 直美

古川グラウンド・ゴルフ愛好会は重信川遊水池を利用した専用グラウンドを持つ、平成2年設立の歴史あるクラブです。

この間、全国大会等でも個人、団体ともに上位の入賞を果たしています。

しかし、他のクラブ同様、会員の高齢化等により会員数は減少していましたが、町内会ウォーキング大会や町内会報での会員募集等でこの2年間で10名の新規会員の獲得に成功し、現在は48歳から88歳までの30名の会員数となっています。

伝統を引き継ぐべく、週3回の練習と対外試合に参加することで技術の向上に励んでいます。また今年には指導者資格を5名が取得し、知識レベルの向上にも努めています。

また専用グラウンドの利を生かし、近隣クラブとの交流大会を行っています。しかし、デメリットとしてグラウンド整備を定期的に行う必要があります。周辺の草引き、芝刈り、またコースの変更と大変な作業量ですが、全員で参加することでチームワーク作りにも役立っています。



自慢のグラウンド

ホールインワン基金も10円の少額ですが、月1回ずつ徴収し、社協寄付などの特別な運用基金にあてています。

初夢杯紅さし老のゴルフかな

古川GG愛好会 今村 律子
古川GG愛好会 今村 照江



グラウンド整備の様子



練習前全員でクラブ体操

事務局よりひろいっしょお知らせです

▼文部科学大臣表彰

―宮前GG協会おめでとうございます―

宮前グラウンド・ゴルフ協会が令和3年9月17日、地域におけるスポーツの健全な普及及び発展に貢献し、地域におけるスポーツの振興に顕著な成果を上げた功績に対し「生涯スポーツ優良団体」として文部科学大臣表彰が決定されました。全国で優良団体123団体が表彰されました。

宮前グラウンド・ゴルフ協会は、宮前校区内6町6ブロック・6公園で練習しています。普段から公



宮前GG協会：越智節雄会長

園の整備・維持管理に携わり、地域の団体や住民の方から評価されています。「公園の維持管理と会員の健康管理」をモットーにし、地域の発展とグラウンド・ゴルフの普及に頑張っています。

なお、日本グラウンド・ゴルフ協会の園山会長さんからも祝電が届きました。

11月24日愛媛県庁の伝達式で「宮前グラウンド・ゴルフ協会・越智節雄会長」が受賞されました。

宮前グラウンド・ゴルフ協会 万歳!!

宮前公民館 館長 山下 文明

このたび、宮前グラウンド・ゴルフ協会が、文部科学大臣より「生涯スポーツ優良団体賞」を表彰されたと聞き、大変喜んでおります。おめでとうございます!!

宮前グラウンド・ゴルフ協会は、宮前地区スポーツ協会に所属し、宮前公民館の地区対抗のグラウンド・ゴルフ大会など運営スタッフとしてお世話をしていたいております。

また、各種のグラウンド・ゴルフ大会でも好成績を収めているとお聞きしており、宮前公民館としても鼻高々です。

このように、社会体育における地域スポーツの振興や各公園の清掃活動などが評価されたのではないかと思います。これからも、貴団体のますますのご発展とご活躍を願っております。

二人三脚



80歳今一番のたのしみは!!

川之江G協会 篠原 敏昭・朱美

川之江グラウンド・ゴルフ協会は50数名いて、会
長始め事務局の方々がパソコンを駆使して、前回の
成績上位10名を発表します。そして月間・年間の成
績管理をしてくれています。

グラウンド・ゴルフは、主人が先に始めていて、
私はバレーボールの友達を誘って会員になり、15年
くらいになります。

夫婦で始めた頃、朝早くグラウンドに行つて練習し
たい主人と、ゆっくりの私と波長があわない朝が
たびたびありました。何十年たった今でも変わりませ
ん。コロナ禍の今年の6月頃、以前痛めていた足の両
ひざが悪くなり、一時は杖にたよる状態でした。今
までにないストレスとグラウンド・ゴルフが出来る
ようになるのだろうかと不安でした。まだ痛みが
残っている状態でしたが、思いきつてグラウンド・
ゴルフの練習に行ってみました。無理をしないで体
の状態にあわせてプレーをしていました。今では大
分よくなりうれしく思っています。

主人85歳、
私82歳。先
ことはあまり
考えないで、
今を元気で楽
しくプレーで
きることを喜
びたいと思っ
ています。

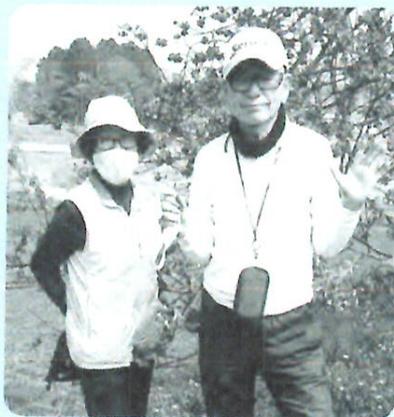


グラウンド・ゴルフは、本当に楽しくて、笑顔で
過ごす仲間とのひとときを大切にしています。

グラウンド・ゴルフに寄せて

小松一柳会 矢野 泰雄・弘子

私がグラウンド・ゴルフを始めたのは66歳のころ、
家内と共に小松一柳会に入会してからで、それ以来
グラウンド・ゴルフの面白さと楽しさのとりこに
なっています。今は、先輩の方々の殆どは他界され、
いつの間にか私も長老と呼ばれるようになり、若い
人に「矢野さん」を目標にしている「など
と言われたりするが、グラ
ウンド・ゴル
フのお陰で毎
日規則正しく
元気に生活で
きるこの有
難さを噛み締
めています。



一番うれしい事は多くの友達や仲間が出来た事
で、その仲間と旅行したり、グラウンド・ゴルフ発
祥の地、鳥取の「幸せの丘泊まり」の大会に参加し
た思い出は忘れられない。私の趣味はグラウンド・
ゴルフのほか新聞に投稿したり家庭菜園とか、カ
ラオケ採点ゲームで太鼓を鳴らしたり、しょうもな
いことばかりで楽しい老後をエンジョイしている。
また、テレビ局が開催するボーリングのペアマッチ
で、運良く沖縄往復航空券を獲得して沖縄に行った
が、旅慣れないので着いた途端に帰りの飛行機の心
配をしたり、弥次喜多道中でした。

クラブの中にはカラオケや食事を楽しむグルー
プとか、中には菊作りの名人が居て秋には大輪の花
を咲かせて皆んなを楽しませてくれたり、色々な人

達はその才能を発揮しています。グラウンド・ゴル
フのおかげで多くの人との出会いは、生きる力に
なっている。

一柳会の練習だけでなく、対外試合に出てゆく事
で、県下には多くの仲間や知り合いが出来て、その
人達に出会える楽しみはお金には代えられない心の
財産になっている。これからも、グラウンド・ゴル
フ仲間と共に超高齢社会を生き抜き、ピンピンコロ
リを目指し100歳の景色がどんなものか見るのを
楽しみにしている。

四国交換大会に参加して

&今後の抱負

谷町Gクラブ 小川 重仁・桂子

私達夫婦が四国交換大会に参加をし始めたのは、
5年前の「徳島県」開催からです。次年「香川県」
その次の年「愛媛県」、その後、コロナウイルスに
より1年延期となり、今年度「高知県」開催でした。
会場は「春野総合運動公園」一日のみの開催でした
が、会場の下見を兼ね前日移動する事にしました。
30年ぶりの国道33号線を通り、仁淀川の紅葉を眺め
ながら、伊野を経由し高知市に入り、まず今夜の宿
の確認、そして「春野運動公園」へ、G G会場であ
る競技場を下
見し、翌日、
会場に入りま
した。競技場
は芝の状態も
良く素晴らし
い会場です
た。この様な
場所プレー
出来る幸せを
感じました。
メンバー構成



は、香川2名、高知2名、愛媛2名の組合せで、皆さん気さくで良い方ばかりで楽しくプレーが出来ました。結果は、私が55打、妻が63打、二人とも入賞には及びませんでした。メンバーの方に恵まれ本当に楽しい一日でした。今後も当大会には、参加しようと思っています。

定年後、私達は谷町GGを立ち上げました。地域の皆さんとの親睦を深めると共に、第二の人生を大切に過ごしたいと、話し合いました。お陰で多くの会員さんにも恵まれました。初めての人も週2回の練習で腕をあげていきました。「健康で明るく楽しいゴルフ」をモットーに、和気あいあいとやっています。ゴルフを通して皆さんの友と出会いました。私達にとつて幸せな事です。結婚して55年、苦楽を共にしてきた道をこれからも二人三脚で楽しいゴルフを続けていきたいと思っています。これからも皆さんよろしく。

感謝の気持ちを忘れずに

ジョイグリーンクラブ

永井 耕作・富有子

私たち二人は(二人合わせて162歳)、令和2年4月より知人の紹介によりジョイグリーンクラブに入会させていただきました。早いもんで1年が過ぎました。クラブ員の皆さんは快く迎えていただき、クラブ練習や県大会に参加させていただいていま



す。グラウンド・ゴルフで大切な「ルールやマナー」についても教えていただき気持ちのいいプレーを心がけています。

二人はグラウンド・ゴルフが大好きです。年齢や身体状況にあった誰でもできる体にあった優しいスポーツと思っています。

私は、耳に障害があり何回も手術をしていますので行動に不自由を感じる事がありますが、夫の協力によってどこに行くのも一緒です。県・市大会には必ず参加します。

県・市協会の大会は時々入賞もし、過去に全国大会へも二人揃って参加させていただきました。色々な大会に参加し、他のクラブ員の方とラウンドのなかで会話するのは楽しいものです。別の大会でえば会話ができるまでになります。高齢になっても友達や知り合いができるのは、グラウンド・ゴルフのおかげで嬉しいものです。いろいろな思い出もできます。

これからもクラブの仲間や友人方々と仲良くし、元氣よくグラウンド・ゴルフを楽しみ、そのことを伝えていきたいと思っています。

グラウンド・ゴルフと仲間感謝です。ありがとうございます。

グラウンド・ゴルフで夫婦円満

とベスマイルGGクラブ

宮本 敏夫・チズ子

私達夫婦とグラウンド・ゴルフの出会いには、妻の叔母夫婦に勧められて、2013年5月から始めました。一つくらいは妻と同じ趣味を持つのも良いかなあと思いました。初めてプレーしたのは、森松町の河川敷でした。現在は「とべゆとり公園」で練習をしています。

私は、大きな大会に選手としての参加の経験は有りませんが、全国交歓大会に参加させていただきました

した。

2017年のえひめ国体では、役員の一員として、台風の襲来で1日に短縮された中、全国から参加された選手団の皆様にあ媛を満足してもらえよう、雨の中で頑張ったことが昨日のように思い出されます。

全国大会等いつも開催される各種大会が何とか実施できるのは、お世話をしていただき関係者の皆さんのおかげと感謝をしています。

私達クラブの、最近の思い出は、昨年9月の愛媛県グラウンド・ゴルフ大会です。開会式では、今度はこのクラブが優勝杯を持って帰るのかなあと、漫然と眺めていました。ところが思いがけず団体優勝・妻は個人準優勝の快挙！信じ難い嬉しい出来事でした。庄巻は8個のホールインワンでした。結束力と集中力を感じました。

当クラブ内には、夫婦で参加しているのは私達のみです。良い事ばかりではありませんが、夫婦の行き違いも仲間と一緒に過ごす時間がかたがたの間にか忘れさせてくれます。

クラブの目標は、まず心身健康で、練習に参加できること、そしてクラブの名称のとおりスマイルを忘れず、各自が目標を持ち、切磋琢磨しながら仲間とプレーする。練習日が待ち遠しい、そんなクラブづくり夫婦共々お手伝いが出来たらと願っています。

コロナが収束したら、釣り・のんびりとした旅行もしたいと思いますが、今のところグラウンド・ゴルフ優先の日々が続くように思います。



「トマリ」最近の出来事

ウエルビアGGクラブ

真藤 政勝・喜美子

「トマリ」確認を目視判定から自動機器判定へ？

先日、秋の各種県大会中での出来事。

【出来事1】

15mHで、1打ボールがホールポスト低円枠に止まった。誰かが「入った」と言ったので走っていき、ボールを取った。もしたら、誰かが「入っていないぞ」と言ったので、「入っていないかったのかな？」と思いい、ボールを置き、2打目で「トマリ」させた。後で「人に疑義をもたれる行為」と注意を受けた。

【出来事2】

25mHで、1打ボールがホールポスト低円枠に止まった。走っていき、低円枠の真上から見て、ボールの位置はほぼ五分／五分で入っていると判断した。同伴プレーヤー二人に同意を求めた。一人は五分／五分（同意）、もう一人は四分／六分（不同意）であった。結果的には四分／六分の人が強く主張し「入っていない」事になった。

上記、出来事1、2例の該当プレーヤーは、「後味が悪く」、グラウンド・ゴルフが楽しくなくなると言っていた。この件にどう対応すれば良いのでしょうか。

クラブとしては、とりあえず、

①課題

「トマリ」判定が不十分のままボールを取った。

同伴プレーヤー等の同意が確実に得られるまではボールを取らない。

従来から、クラブ内練習等では実施しており、再確認した。

②課題

ボールがホールポスト低円枠の上に止まったら、ボールを真上から見て低円枠の半分以上が入っていることを確認（目視判定）する。

我々の練習は、土（砂）のグラウンドで地面の上に

ホールポストを設置（ホールポスト低円枠は地面より高い）しており、ホールポスト低円枠上にボールが止まることはまずない。真上からの「トマリ」目視判定はクラブでは実施していない。

県大会に参加し、芝生グラウンドでプレイする場合に遭遇する。長く、深い芝の影響で、ボールがホールポスト低円枠に止まり易くなり、真上からの目視判定が必要となっている。この真上からの目視判定の悩ましい点は、「だれでも」目視判定に参加出来ることに原因があると推定される。（ルール理解していない人、強引人、独り善がりの人等々を含め）残念ながら納得できない判定が出ることも否めない。

この課題の解決には、人が介在しない機器判定の導入が望ましいと思われる。今の世の中、AI（人工頭脳）化、デジタル化が進んでおり、グラウンドゴルフもアナログ（目視判定）とデジタル（機器判定）を期待したい。（戯れ言でしょうか？）

最後に、私事、家内が体調不良となり、再々の病院通いをしておりますが、スケジュールが合えば大会参加を唯一の楽しみにしております。（今年6回参加、家内が積極的）体力維持、友人とのふれあい等々意欲満々で、来年も大会に積極参加したいらしいので、小生も一緒に参加しようと思っております。

二人仲良く健康に！

目指したい二人で200歳

津島クラブ 岡村 一夫・美枝

私達は、グラウンド・ゴルフを始めて2年目を迎えました。始めたころは、上手になりたくて居残り練習をした事もあり、二人でアドバイスをしあひながらホールインワンを目指して頑張りました。

2か月が過ぎた頃、月例大会に初めて参加しました。広々としたグラウンドと大勢の人にドキドキしたことを記憶しています。帰りの車の中では、次の大会に向けて反省会が始まり、二人でイメージを膨らませながら会話が弾みました。

先日、南予支部普及指導員研修会があり、速くから参加もされていました。初対面にもかかわらず、どんな親しくなり冗談を言い合いながら、和気あいあいとプレイすることができました。「二人一緒に同じことをするのが大事なんだから」とか声をかけてもらうと和やかさが増したように思います。驚いたことに主人が3位に入賞しました。「おしかったね」と、いうと「あの1打が」と残念そうでした。その残念な気持ちがよく理解でき私も頷いていました。また「おめでと〜う」と、同じクラブの人に言ってもらうと自分の事のように嬉しく心が浮き浮きました。



二人で同じ気持ちを楽しむことができる大切さを実感した出来事の一つでした。

私達も二人で136歳になりました。今までは、仕事に追われがちでしたが、第二の人生は二人仲良く健康に留意し、大空の下で150歳、200歳を目指し楽しんでいきたいと思えます。これからもよろしくお願ひします。

●編集後記●

次号「協会だより」は5月の予定です。「県内・東から西へ（500字程度。写真2枚を同封して下さい。）」及び絵画、写真、俳句等の投稿をお願いします。内容は自由です。

◆連絡先／愛媛県グラウンド・ゴルフ協会事務局

〒791-1132 松山市久谷町甲214 野中 修
TEL・FAX 089-1963-2334 6